

令和 2 年度  
決算説明資料

令和 3 年 1 0 月 7 日

消 防 局

# 目 次

	頁
1 女性消防官について	1
(1) 主な政令指定都市の職員数	1
(2) 令和2年度に実施した女性消防官を増やすための主な取り組み内容	1
2 学校教育について	2
3 消防音楽隊による演奏及びSNS投稿の実績について	3
4 戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業における 事業推進スケジュールのイメージについて	3
5 家具転倒防止ボランティアについて	4
(1) 研修内容	4
(2) 登録人数	5
(3) 派遣実績	6
6 立入検査の実施状況等について	7
(1) 実施状況	7
(2) 主な不備指摘事項	7
7 応急手当感謝カード（バイスタンダーサポートカード）の配布対象者 からの問い合わせについて	8
8 救急搬送困難事案の月別発生件数について	8
9 救急救命士について	9
(1) 救急救命士の内訳	9
(2) 運用開始後の育成プログラム	10

	頁
10 救命講習等について .....	11
11 震災消防水利資器材（ディスクトレーナー）の取水点について .....	12
12 消防航空隊の訓練等における飛行回数について .....	13
13 指令管制システムの更新に係る基本調査における主な検討内容について .....	13

# 1 女性消防官について

## (1) 主な政令指定都市の職員数

令和2.4.1現在

区 分	全 消 防 官 (人)	女 性 消 防 官 (人)	女性消防官の割合 (%)
名 古 屋	2, 2 7 8	5 2	2. 3
横 浜	3, 8 0 7	1 4 3	3. 8
京 都	1, 7 6 6	8 1	4. 6
大 阪	3, 5 1 7	1 4 3	4. 1
神 戸	1, 4 2 0	5 0	3. 5

## (2) 令和2年度に実施した女性消防官を増やすための主な取り組み内容

- ・ 女性を対象とした業務説明会の開催
- ・ 消防局SNSを活用した女性消防官の紹介
- ・ 女性消防官の活躍を紹介したパンフレットの作製
- ・ 女性の採用試験合格者を対象とした説明会の開催

## 2 学校教育について

令和2年度

区 分		内 容	時 期	日 数 (日)
初任教育	初任科	新任の消防吏員として必要な基礎的知識、技術等	4月～9月	124
	実務科	初任科で習得した基礎的知識、技術等の実践	10月～3月	117
専科教育	警防科	警防活動に必要な専門的知識、技術等	10月～2月	23
	予防科	予防業務に必要な専門的知識、技術等	11月～1月	13
	機関科	消防車両の操作、点検及び整備に必要な知識、技術等	11月～12月	12
	救急科	救急隊員資格の取得に必要な専門的知識、技術等	1月～3月	41
	救助科	救助活動に必要な専門的知識、技術等	10月～11月	21
幹部教育	幹部科	幹部職員に必要な心構え、知識等	12月	21
特別教育		定年延長対象職員等に必要な知識、技術等	10月～11月	14

注 日数は、区分ごとの延べ数を示す。

### 3 消防音楽隊による演奏及びSNS投稿の実績について

区 分	演 奏 回 数 (回)	SNS投稿回数 (回)
令 和 元 年 度	217	386
令 和 2 年 度	38	304

### 4 戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業における事業推進スケジュールのイメージについて

令 和 元 年 度	~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月~
	訪問	集計	調達	配付			
令 和 2 年 度	~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月~
	訪問 (A学区)	集計	調達	配付			
		訪問 (B学区)	集計	調達	配付		
			訪問 (C学区)	集計	調達	配付	

注1 各年度とも訪問から配付までのスケジュールを示し、令和元年度はモデル実施の結果を、令和2年度は計画策定時のものを示す。

2 令和2年度は、集計及び配付について事業者への委託を予定していた。

## 5 家具転倒防止ボランティアについて

### (1) 研修内容

区 分	内 容	
家具転倒防止 ボランティア 養成講座	座 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度概要について</li> <li>・ 家具転倒防止対策について</li> <li>・ 訪問時のマナー</li> </ul>
	実 技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工具等の取り扱い</li> <li>・ 施工技術の習得</li> </ul>
家具転倒防止 ボランティア 養成実践研修	現 地 調 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担</li> <li>・ 下地等の調査</li> <li>・ 写真撮影</li> <li>・ 調査結果・承諾書の説明</li> <li>・ 家具転倒防止器具の準備</li> </ul>
	施 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業準備</li> <li>・ 施工作業</li> <li>・ 写真撮影</li> <li>・ 作業結果の説明</li> </ul>

(2) 登録人数

区 分	令和元年度 (人)	令和2年度 (人)
千 種	18	11
東	8	8
北	19	20
西	17	11
中 村	50	52
中	8	9
昭 和	11	13
瑞 穂	13	16
熱 田	8	7
中 川	27	35
港	16	18
南	13	15
守 山	14	14
緑	21	21
名 東	24	22
天 白	16	17
合 計	283	289

注 各年度とも3月31日現在の数値である。



## (3) 派遣実績

区 分	令 和 元 年 度 (軒)	令 和 2 年 度 (軒)
千 種	2 3	—
東	9	1
北	4 3	9
西	4 3	5
中 村	7 1	2
中	—	2
昭 和	4 4	1 8
瑞 穂	1	3
熱 田	2 5	1
中 川	9	—
港	6 5	4
南	2 0	7
守 山	3 5	1 5
緑	1 4 7	2 7
名 東	4 5	—
天 白	3 5	—
合 計	6 1 5	9 4

## 6 立入検査の実施状況等について

### (1) 実施状況

区 分	立 入 検 査 実 施 対 象 物 数	
	令 和 元 年 度 (件)	令 和 2 年 度 (件)
特 定 用 途 防 火 対 象 物	8, 6 5 7	6, 4 3 9
非 特 定 用 途 防 火 対 象 物	1 5, 1 6 5	1 4, 2 8 5
合 計	2 3, 8 2 2	2 0, 7 2 4

注1 特定用途防火対象物とは、百貨店、ホテル等の主として不特定多数の者が出入りする防火対象物をいう。

2 非特定用途防火対象物とは、共同住宅、事務所等の主として特定の者が出入りする防火対象物をいう。

### (2) 主な不備指摘事項

区 分	指 摘 し た 対 象 物 数	
	令 和 元 年 度 (件)	令 和 2 年 度 (件)
消防用設備等の点検に関する不備	3, 6 5 9	1, 1 2 6
防火管理業務の履行に関する不備	1, 3 4 7	4 5 1
防火管理者の選任に関する不備	1, 0 6 1	4 0 7

7 応急手当感謝カード（バイスタンダーサポートカード）の配布対象者からの問い合わせについて

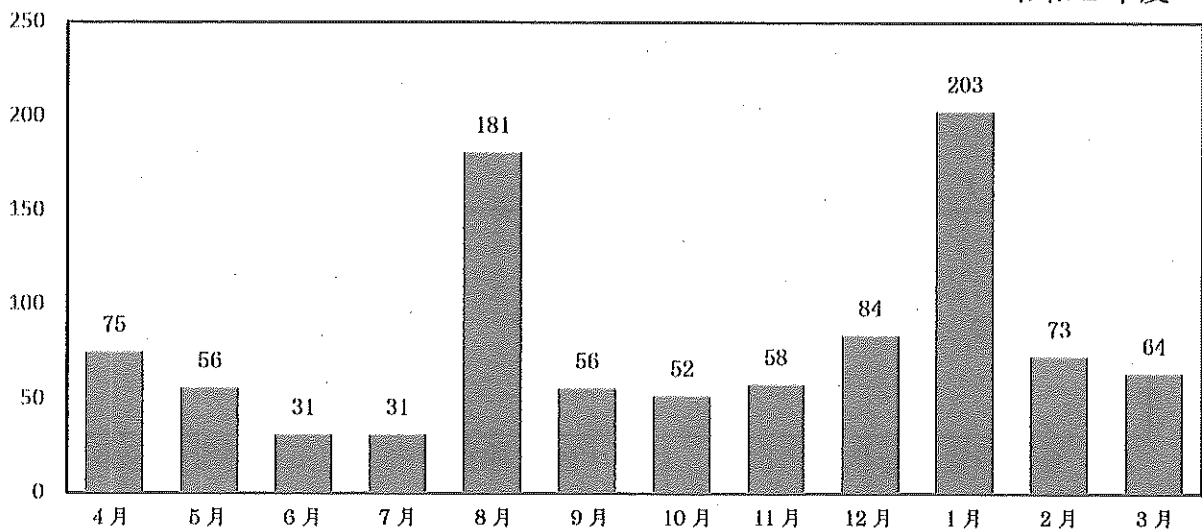
令和2年度

区 分	件 数 (件)
血液による感染に対する不安によるもの	4
新型コロナウイルス感染症の感染に対する不安によるもの	2
こころの悩み・不安によるもの	1
合 計	7

8 救急搬送困難事案の月別発生件数について

(件)

令和2年度



## 9 救急救命士について

### (1) 救急救命士の内訳

令和3.3.31現在

区 分	人 数 (人)
運用中の救急救命士	306
薬剤投与救急救命士	255
処置範囲拡大救急救命士	231
気管挿管救急救命士	116
運用していない救急救命士	154
合 計	460

注 気管挿管救急救命士には、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救急救命士を含む。

(2) 運用開始後の育成プログラム

令和2年度

区分	育成時期	内容
薬剤投与救急救命士育成プログラム	1年目	6か月の間に計6日間の集合講習及び教育訓練を実施
処置範囲拡大救急救命士育成プログラム	2年目以降	1か月の間に計2日間の集合講習及び教育訓練を実施
気管挿管救急救命士育成プログラム	3年目以降	4か月の間に計6日間の集合講習及び教育訓練を実施後、1～2か月間の病院実習を実施
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救急救命士育成プログラム	4年目以降	1か月の間に計2日間の集合講習及び教育訓練を実施後、3～6日間の病院実習を実施

10 救命講習等について

令和2年度

区 分		内 容	受 講 対 象
救命入門 コース	成人 (90分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心肺蘇生法</li> <li>・ AED使用法</li> </ul>	小学4年生 以上
	小児・乳児 (90分)		
普通救命 講習	成人 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心肺蘇生法</li> <li>・ AED使用法</li> <li>・ 異物除去法</li> <li>・ 止血法 等</li> </ul>	中学生以上
	小児・乳児 (3時間)		
上級救命 講習	成人及び 小児・乳児 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心肺蘇生法</li> <li>・ AED使用法</li> <li>・ 異物除去法</li> <li>・ 止血法</li> <li>・ 傷病者管理法</li> <li>・ 外傷手当要領</li> <li>・ 搬送法 等</li> </ul>	
応急手当 普及員講習	成人及び 小児・乳児 (24時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心肺蘇生法</li> <li>・ AED使用法</li> <li>・ 異物除去法</li> <li>・ 止血法</li> <li>・ 傷病者管理法</li> <li>・ 外傷手当要領</li> <li>・ 搬送法</li> <li>・ 講習の指導要領 等</li> </ul>	

注1 市民が受講できる救命講習等を示す。

2 区分欄の( )内の数値は、標準的な講習時間を示す。

11 震災消防水利資器材（ディスクストレーナー）の取水点について

令和3.3.31現在

区 分	河 川 (か所)	池 (か所)	合 計 (か所)
千 種	3	—	3
北	5	—	5
西	2	—	2
昭 和	4	—	4
瑞 穂	2	—	2
中 川	1	—	1
守 山	4	—	4
緑	50	1	51
名 東	4	—	4
天 白	1	1	2
合 計	76	2	78

12 消防航空隊の訓練等における飛行回数について

令和2年度

区 分	飛 行 回 数 (回)
訓 練 飛 行	292
試 験 飛 行	20
調 査 飛 行	10
合 計	322

13 指令管制システムの更新に係る基本調査における主な検討内容について

区 分	内 容
最 新 技 術 の 導 入	消防隊が撮影した現場の映像を現場指揮本部や防災指令センターなどで共有できる機能等の検討
保 守 性 の 向 上	指令管制システムの汎用品の活用によるシステム保守の合理化
共 同 運 用 へ の 対 応	関係消防本部の出動計画や無線通信システムとの連携に必要な機器及び機能等の検討

注 関係消防本部とは、津島市消防本部、蟹江町消防本部、海部東部消防組合消防本部、海部南部消防組合消防本部、愛西市消防本部、瀬戸市消防本部及び尾張旭市消防本部である。